

沖縄県立水産高等学校で水難救済 ボランティア教室開催

【投稿：琉球水難救済会】

沖縄では珍しく、この時期（12月7日）には似合わない冬型の気象条件のなか、本島南部に所在する水産高校海洋技術科1年生を対象に「若者の水難救済ボランティア教室」を開催した。

水産高校の担任の先生から「生徒たちに是非とも海難救助の手法を指導して欲しい」との要請がきっかけで開催したものである。

十一管区救難課と沖縄ライフセービング協会に協力を依頼し、受講者40名余に効果的に対応するため講師8名が奮闘した。

最初に視聴覚室を利用し、琉球水難救済会の浅野常務が、海難の歴史や水難救済会の成り立ち、青い羽根募金の意義等を紹介、次に十一管区救難課専門官による「周辺海域の海難の現状」の説明とビデオを駆使した海保の活躍の放映になると、昨年入学した1年生は、最近の沖縄海域で起こった一連の海保に係わる報道の影響もあって画面に熱中した。

生徒たちの関心が高まってきたところで体育館に移動し体操着に着替えて、ライフセーバーによる心肺蘇生術とAEDの取り扱いを学んだ。

生徒や先生方が熱心で午後4時終了の予定が1時間も延長した。全員整列しての終了のセレモニーでは生徒たちの拍手と感謝の言葉の後に、担当の先生方から海洋技術科の全学生120名に毎年指導して欲しいとの要望を受けた。



琉球水難救済会 浅野常務による講演



第十一管区海上保安本部救難課吉田氏による講演



沖縄ライフセービング協会による心肺蘇生法デモンストレーション



沖縄水産高校生徒による心肺蘇生法訓練



部活中（柔道）に突然倒れた事を想定としたシミュレーション訓練



集合写真